


自社の活動が環境に与える影響を測定し、定量化する取り組み事例

- 企業活動が環境に与える影響を詳細に分析する経営管理ツールである環境損益計算（EP&L）を活用して、サステナビリティ戦略の指針を示し、プロセスや供給源を改善して、最適なテクノロジーを選択している。

ケリングにおける事例

取組み概要	自社の活動が環境に与える影響を測定し、定量化するための革新的なツール <ul style="list-style-type: none">環境損益計算（EP&L）は、企業活動が環境に与える影響を詳細に分析する経営管理ツールであり、意思決定者が従来の財務指標と並行してこの貴重な情報を考慮できるようにするものである。EP&Lを利用することで、バリューチェーン全体にわたる温室効果ガス排出量、水使用量、大気汚染・水質汚濁、土地利用、廃棄物量を測定し、ケリング・グループの事業活動による様々な環境負荷を可視化、これらの影響を定量化し、比較検討することが可能となる。そして、これらの影響を貨幣価値に換算し、天然資源の使用量と社会への影響を定量化する。また、オープンソース化と透明性への継続的な取り組みとして、デジタルEP&Lプラットフォーム (https://keringgroup.opendatasoft.com)を立ち上げた。同プラットフォームでは、グループの事業活動から、特定の素材や加工活動が環境に及ぼす影響、調達先など、具体的な詳細まで、確認することができる。さらに本デジタルEP&Lには、EP&Lの手法とその基礎となる集計データセットが含まれている。このように透明性を高めることで、ビジネスと、ビジネスが依存する天然資源との関係について、これまでになく情報へのアクセスを可能にしている。さらに、環境問題への認識を広めるため、学生やファッション業界向けに無料アプリ「My EP&L」を制作、提供している。同アプリでは商品の製造プロセスからサステナビリティの概念を取り入れるためのツールであり、ワードローブにある代表的なアイテム（ジャケット、リング、ハンドバッグ、靴）が環境に及ぼす影響を瞬時に計算することができる。	企業名	KERING  ケリング
			設立年
		売上高	176億ユーロ
効果	<ul style="list-style-type: none">ケリングの事業活動において最も重大な影響はサプライチェーン（79%）で発生し、特に原材料の生産と加工がEP&L全体の66%を占めていることが判明した。EP&Lを活用して、サステナビリティ戦略の指針を示し、プロセスや供給源を改善し、最適なテクノロジーを選択している。ステークホルダーに対する透明性を確保している。	企業概要	<ul style="list-style-type: none">ファッション、レザーグッズ、ジュエリー製品を扱うメゾン、およびケリング アイウェアを擁するグローバル・ラグジュアリー・グループ。傘下にはグッチ、サンローラン、ボッテガ・ヴェネタなどがある。